

資料配付の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市市政記者クラブ

平成 26 年 2 月 7 日同時配付

平成 26 年 2 月 7 日

国 土 交 通 省

国土技術政策総合研究所

「防災・減災に向けた研究」 東日本大震災から3年の総括

～南海トラフ地震、首都直下地震に対する研究の最新動向まで～

- ・ 国総研は、土木研究所、建築研究所、港湾空港技術研究所と共催で、**3月19日(水)**に「**防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～**」を開催します。
- ・ 本報告会では、地震発生から3年間を総括し、各分野の第一線の研究者から、発災直後の緊急対応からその後の施策、復旧・復興事業への反映、さらに今後の**南海トラフ地震、首都直下地震等**に対する**防災・減災対策の研究の最新動向**を紹介します。

1. 日 時:平成 26 年 3 月 19 日 (水) 13 時 00 分～18 時 10 分 (受付 12 時～)

2. 場 所:中央合同庁舎 2 号館地下 2 階講堂(東京都千代田区霞が関 2-1-2)

3. プログラム:詳細は次頁参照

・ 第一線の研究者による防災・減災に関する最新の研究動向

【セッション 1】地震・津波被害の把握・推定 (13:05-14:45)

【セッション 2】土木構造物における取り組み (14:55-16:35)

【セッション 3】建築・都市分野における取り組み (16:45-18:05)

4. そ の 他:入場無料、「国総研」のホームページからお申込みください。

(定員 500 名申込み先着順)

<http://www.nilim.go.jp>

報道機関の皆様へ 取材ご希望の方は、国総研企画課に事前登録をお願いします

【問い合わせ先】

国土交通省国土技術政策総合研究所

〒305-0804 茨城県つくば市旭 1 番地

企画部企画課 山本 TEL:029-864-2674 FAX:029-864-1527

防災・減災に向けた 研究成果報告会

～東日本大震災から3年～

日時・場所

平成26年 **3月19日** **水** 13:00～18:10

入場無料

※報告会終了後、意見交換会を開催。

中央合同庁舎2号館(地下2階) 講堂 (東京都千代田区霞が関2-1-2)

アクセス

東京メトロ 丸ノ内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」下車
東京メトロ 有楽町線「桜田門駅」下車

※庁舎へ入館する際、入口にて入館手続きをお願いします
(身分証明書の提示が必要なため必ずご持参ください)

プログラム

裏面「プログラム」をご覧ください

参加申込み

下記HPよりお申込みください

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/saigai/h23tohoku/index.html>

※定員に達した場合には、申込みを締め切らせていただきます



国土技術政策総合研究所、土木研究所、建築研究所及び港湾空港技術研究所では、東日本大震災の発生直後から職員を被災地へ派遣し、人命救助や復旧活動等に不可欠な道路や港湾等の供用性評価、応急復旧の為に技術支援に取り組んできました。

また、大震災の教訓を踏まえ、従来の想定を凌ぐ自然災害への新たな対策を含めた技術基準の改定等の研究を行っています。

東日本大震災発生から3年間を総括し、各機関・各分野における発災直後の緊急対応からその後の施策、復旧・復興事業への反映、さらに今後の南海トラフ地震、首都直下地震等に対する防災・減災対策の取り組み状況を紹介します。

主催



国土交通省 国土技術政策総合研究所



独立行政法人 土木研究所



独立行政法人 建築研究所



独立行政法人 港湾空港技術研究所

お問い合わせ

国土技術政策総合研究所
企画課 山本

TEL:029-864-2674

防災・減災に向けた研究成果報告会～東日本大震災から3年～ プログラム

■日 時:平成26年3月19日(水)13時～18時10分

■場 所:中央合同庁舎2号館(地下2階)講堂 (東京都千代田区霞が関2-1-2)
 ※庁舎へ入館する際、入口にて入館手続きをお願いします。また、「**身分証明書**」の提示が必要なため必ずご持参ください。

■参加費:無料(意見交換会に出席される方は会費3,000円)

時間	分野	発表課題名	発表者
13:00 ~ 13:05	主催者挨拶 <国土技術政策総合研究所長>		
セッション1:地震・津波被害の把握・推定			
13:05 ~ 13:25	地盤	大規模広域型地震被害の即時推測技術	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 地震災害研究官 日下部 毅明
13:25 ~ 13:45	地盤	地盤の液状化判定法の検証と高度化に向けた取り組み	土木研究所 地質地盤研究グループ 土質・振動チーム 主任研究員 石原 雅規
13:45 ~ 14:05	砂防	海溝型地震による斜面崩壊の危険度評価	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 砂防研究室 室長 蒲原 潤一
14:05 ~ 14:25	津波	海洋レーダとシミュレーションが連携した津波減災技術の開発	国土技術政策総合研究所 沿岸海洋・防災研究部 沿岸域システム研究室 室長 日向 博文
14:25 ~ 14:45	津波	津波被害推定に係る数値計算技術	港湾空港技術研究所 アジア・太平洋沿岸防災研究センター 副センター長 富田 孝史
14:45 ~ 14:55	休 憩		
セッション2:土木構造物における取り組み			
14:55 ~ 15:15	道路	東日本大震災での経験に基づいた橋の耐震性能評価	土木研究所 橋梁構造研究グループ 上席研究員 星隈 順一
15:15 ~ 15:35	道路	巨大津波の基本特性の把握と対津波設計への活用	国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター 地震防災研究室 主任研究官 片岡 正次郎
15:35 ~ 15:55	下水道	東日本大震災復旧における下水道分野の支援	国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道機能復旧研究官 尾崎 正明
15:55 ~ 16:15	河川	河川堤防の液状化対策の効果の検証と高度化に向けた取り組み	土木研究所 地質地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員 佐々木 哲也
16:15 ~ 16:35	海岸	海岸堤防の設計と津波防災まちづくりを支える技術の開発と現場への反映	国土技術政策総合研究所 河川研究部 海岸研究室 室長 諏訪 義雄
16:35 ~ 16:45	休 憩		
セッション3:建築・都市分野における取り組み			
16:45 ~ 17:05	建築・都市	被災地における住まいづくりへの取り組み・支援状況と今後の方向	国土技術政策総合研究所 住宅研究部 住宅計画研究室 室長 森 正志
17:05 ~ 17:25	建築・都市	東日本大震災の教訓を踏まえた建築分野の取り組み	建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 石原 直
17:25 ~ 17:45	建築・都市	戸建て住宅地の液状化対策・今後の経験と次への備え	国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市計画研究室 室長 明石 達生
17:45 ~ 18:05	建築・都市	東日本大震災における火災の実態と今後の取り組み	国土技術政策総合研究所 総合技術政策研究センター 建設経済研究室 主任研究官 岩見 達也
18:05 ~ 18:10	閉会挨拶 <土木研究所理事長>		
18:30 ~ 20:30	意見交換会(中央合同庁舎2号館2階 ダーリントンホール 会費3,000円 ※報告会終了後、意見交換会を開催しますので、是非ご参加下さい (事前登録制となります。参加を希望される方は、報告会の申込時に申込みフォームにてご登録下さい、)		